

いのち支える 天童市自殺対策計画（第2期）

～誰も自殺に追い込まれることのない天童市の実現を目指して～
概要版

基本理念

「誰も自殺に追い込まれることのない天童市」の実現を目指します。

1 計画策定の趣旨

自殺対策を総合的かつ効果的に推進し、誰も自殺に追い込まれることのない天童市の実現を目指して、「いのち支える天童市自殺対策計画（第2期）」を策定するものです。

2 計画の位置づけ

自殺対策基本法第13条第2項に定める「市町村自殺対策計画」として策定するものです。（自殺総合対策大綱及び県の「いのち支える山形県自殺対策計画（第2期）」の趣旨及び地域の実情を勘案して定める区域内における自殺対策としての計画）

3 計画の期間

令和6年度から令和10年度までの5年間

4 計画の数値目標

	第1期計画策定時	現 状	自殺対策大綱目標年	計画目標年
	平成30年	令和5年	令和8年	令和10年
自殺死亡率※1	21.5	18.1	15.1以下	15.1以下
自殺者数※1	13.4人	11.2人	9.2人以下※2	9.0人以下※3



いのち支える

※1 直近の5年間の平均数値により求めた。

出典：警察庁「自殺統計」

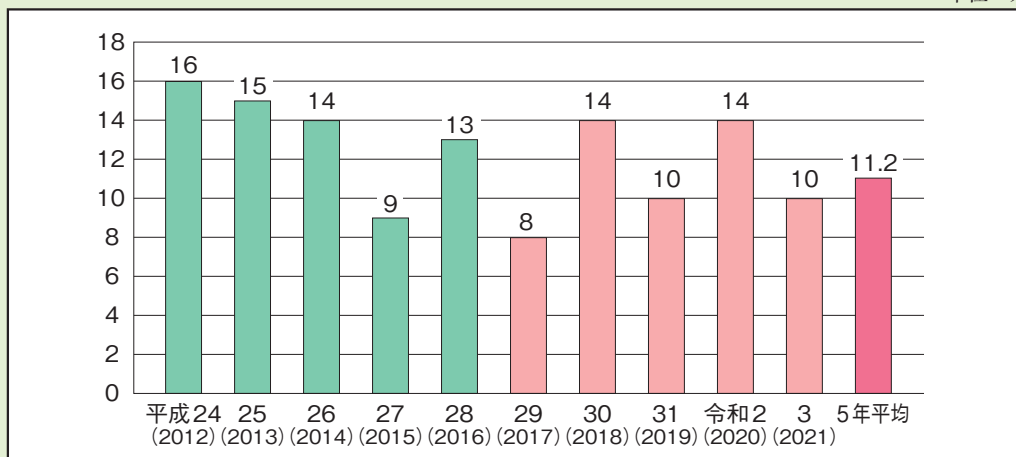
※2・3 天童市の総人口は令和7年には60,701人、令和12年には59,270人になると見込まれている。

5 本市の自殺の現状

(1) 自殺者数の推移

平成29年～令和3年までの本市の合計自殺者数は56人で、5年平均自殺死亡者数は11.2人となっています。

単位：人

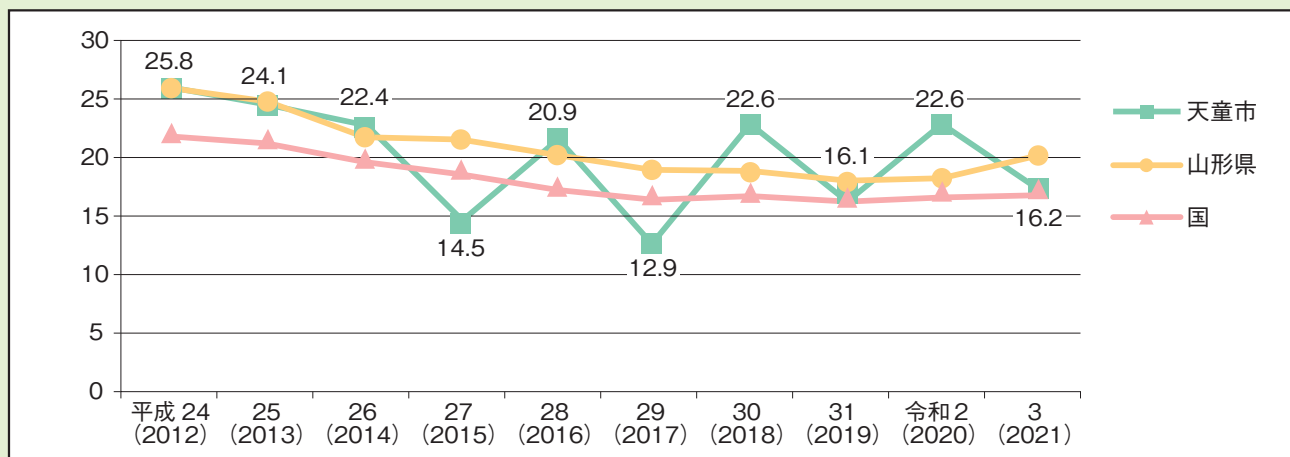


出典：厚生労働省「地域における自殺の基礎資料」

(2) 自殺死亡率（人口10万人あたりの自殺者数）の推移

国、県における自殺死亡率は減少傾向にありましたが、令和2年から増加に転じています。本市においては、年により変動があるものの、おおむね横ばいになっています。

単位：人口10万人対



出典：厚生労働省「地域における自殺の基礎資料」

	平成29年	30年	31年	令和2年	3年
天童市	12.9	22.6	16.1	22.6	16.2
山形県	18.7	18.2	17.0	17.3	19.9
国	16.5	16.2	15.7	16.4	16.4

出典：いのち支える自殺対策推進センター「地域自殺実態プロファイル（2022）」

(3) 性別・年代別自殺死亡率（平成29年～令和3年平均）

男性は40歳代が最も多く、次いで50歳代となっています。女性は80歳以上が最も多く、次いで70歳代となっています。

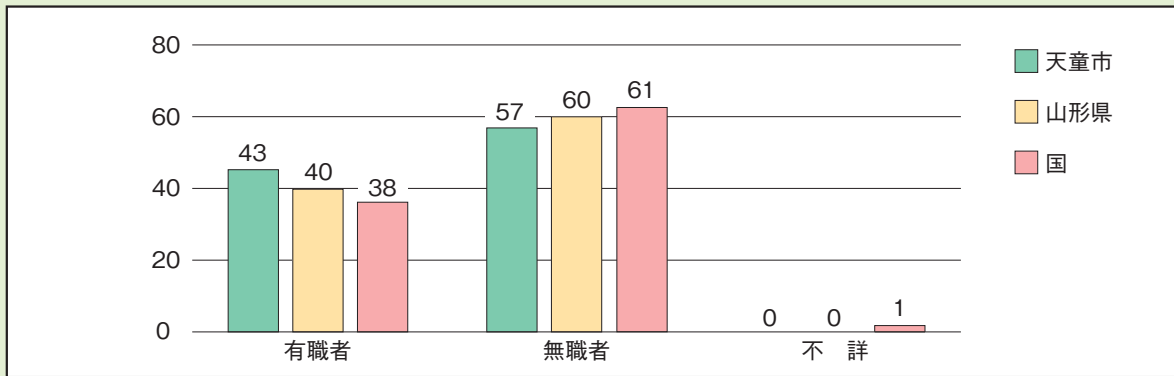
単位：人口10万対

		20歳未満	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代	80歳以上
		男性	天童市	3.5	27.5	10.4	43.3	38.5	31.5
	山形県	3.7	30.2	33.5	26.5	34.3	29.3	27.6	43.5
	国	3.8	24.0	24.5	26.1	30.5	24.2	26.9	34.3
女性	天童市	7.5	7.4	5.5	9.9	5.2	0.0	21.3	36.6
	山形県	3.2	7.9	6.4	10.0	9.5	11.1	12.5	19.6
	国	2.4	11.4	9.5	10.8	12.7	10.9	13.2	13.0

出典：いのち支える自殺対策推進センター「地域自殺実態プロファイル（2022）」

(4) 就業の有無別自殺者数の割合（平成 29 年～令和 3 年合計）

有職者より無職者の割合が高くなっています。また、自殺者数全体における有職者の割合が国や県に比べ、高い傾向にあります。

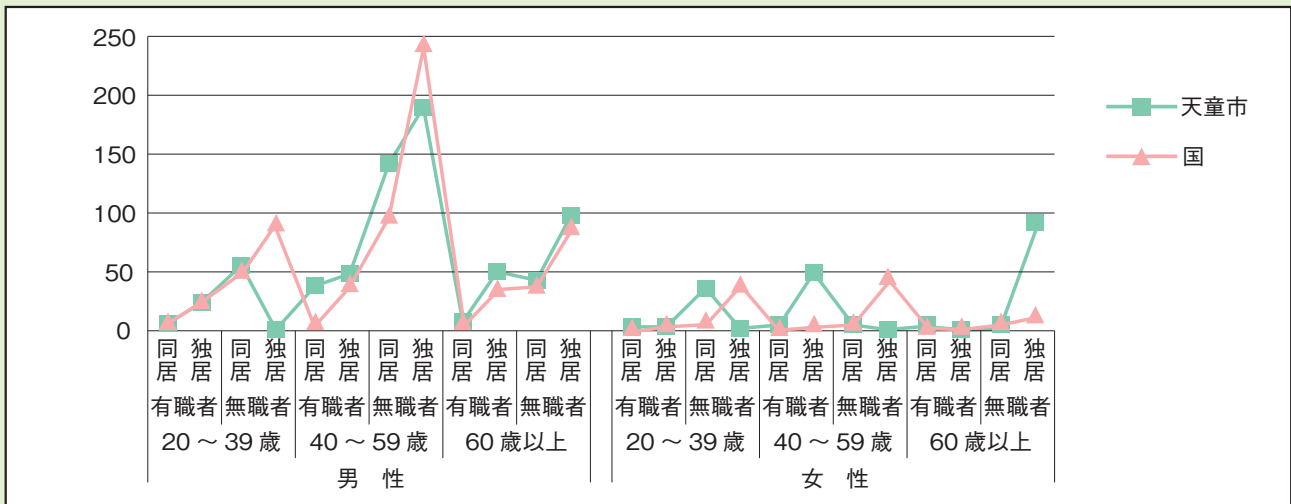


出典：いのち支える自殺対策推進センター「地域自殺実態プロファイル（2022）」

(5) 自殺死亡率の概要

自殺死亡率は「男性 40～59 歳無職独居」が最も高く、次いで「男性 40～59 歳無職同居」となっており、他の区分に比べて著しく高くなっています。

また、同居と独居を比較すると、男性は「20～39 歳無職者」以外は、同居に比べ独居の自殺死亡率が高くなっています。女性は特徴的な差は見られませんが、「60 歳以上の無職者」は同居に比べ独居の自殺死亡率が高くなっています。

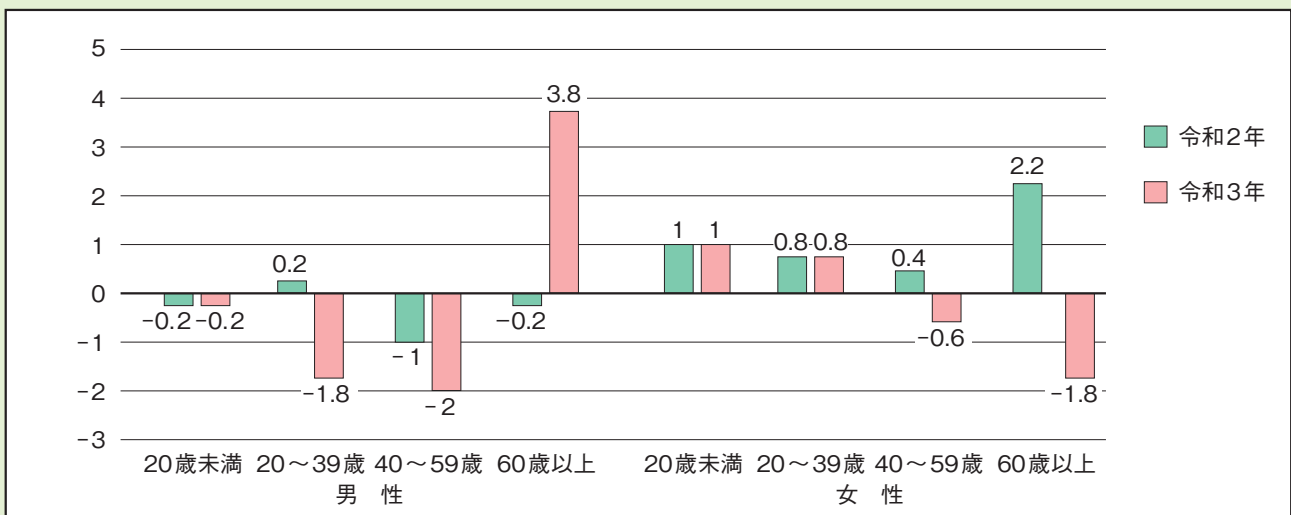


出典：いのち支える自殺対策推進センター「地域自殺実態プロファイル（2022）」

(6) 天童市における性別・年齢階級別の令和 2 年及び令和 3 年自殺死亡率と新型コロナウイルス感染症拡大前 5 年平均自殺死亡率との比較

本市の令和 2 年及び令和 3 年の性別・年齢階級別の自殺死亡率について、新型コロナウイルス感染症拡大前の 5 年間（平成 27 年～平成 31 年）の自殺死亡率の平均との差を比較しています。

国、県における自殺者数は、新型コロナウイルス感染症拡大期においては増加傾向であり、特に女性と子ども・若者が大きく影響を受けたものと考えられています。本市においては、例年と異なる明らかな変化はみられません。



出典：いのち支える自殺対策推進センター「地域自殺実態プロファイル（2022）」

6 天童市における自殺の現状と特徴を踏まえた課題

(1) 自殺者数及び自殺死亡率

自殺者数は減少傾向にありますが、自殺死亡率は年によって変動があり、近年はおおむね横ばいにあります。

(2) 自殺の特徴を踏まえた対策

本市の特徴として、男性 40 歳から 50 歳代の自殺死亡率が国や県に比べて高くなっています。また、有職者の割合も国や県に比べて高い傾向にあり、働き盛り世代の対策を推進する必要があります。

また、女性 20 歳未満の自殺死亡率は県に比べて倍以上高く、今後も子ども・若者に対し、重点的に対策を推進していく必要があります。

さらに、女性 70 歳以上の自殺死亡率が高く、高齢者に対し重点的な対策が必要です。

7 天童市における自殺対策の施策

○基本施策 1 地域におけるネットワークの強化

天童市こころの健康推進連絡会議、天童市自殺対策連携会議の開催 等

○基本施策 2 自殺対策を支える人材の育成

ゲートキーパーの養成と周知 等

○基本施策 3 市民への周知と啓発

講演会や出前講座の実施、自殺対策の周知や啓発 等

○基本施策 4 生きることの促進要因への支援

居場所づくりや相談体制の充実 等

○基本施策 5 自殺未遂者・自死遺族等への支援の充実

自殺未遂者相談支援事業や自死遺族相談・自死遺族のつどい等の情報提供

○基本施策 6 児童生徒の SOS の出し方に関する教育

SOS の出し方・受け止め方に関する教育の推進 等

○重点施策 1 働き盛り世代の自殺対策

こころの健康づくりに関する情報提供 等

○重点施策 2 子ども・若者の自殺対策

SOS の出し方・受け止め方に関する教育の推進 等

○重点施策 3 高齢者の自殺対策

社会的な孤立を防ぐため、見守り・居場所づくり 等

8 関連指標

項目	現状 (令和 4 年度)	目標 (令和 9 年度)
ゲートキーパー養成講座延受講者数 (平成 28 年度～累計)	592 人	1,100 人
SOS の出し方教育を実施している 小・中学校数	5 校	16 校

いのち支える天童市自殺対策計画 (第 2 期) 概要版 (発行 令和 6 年 3 月)

問い合わせ先 天童市健康福祉部健康課 〒994-0047 天童市駅西五丁目 2 番 2 号
TEL 023-652-0884

